



いつも元気に笑顔で働くミツを教えてもらって、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

Group photo

シリーズ第6回 初期臨床研修医
今回は、初期臨床研修医として当院に勤務する神保さんにお話をうかがいました！



●●職員紹介●●

指導医と初期臨床研修医の皆さん
(前列右から2番目が神保さん)

初期臨床研修とは？

日本で医師になるためには、まず大学の医学部や医科大学において6年間の医学教育を受ける必要があります。そして医師国家試験を受験し、合格すると医師免許が交付され、晴れて「医師」となります。

しかし学生の間は医師免許をもっていないので患者さまに医療行為を行うことはできず、臨床現場の経験はほとんど積むことができません。そこで卒業後に大学病院や厚生労働大臣の指定する病院で2年以上の臨床研修を受けることが法律で義務付けられており、そのうち最初の2年間の研修を一般的に「初期臨床研修」と呼んでいます。

初期臨床研修医の仕事は？

初期臨床研修医は2年間の研修期間の間に1か月〜数か月という単位で様々な診療科を経験し、それぞれ専門の指導医の先生の下で指導を受けながら基礎的な技術や知識を習得

この職種を目指したきっかけは？

私の家はいわゆる医者家系であり曾祖父から病院を営んでいます。両親、父方の祖母、父、叔父や叔母と医師に囲まれて育った私は、幼い頃「医師にはなりたくない」と思っていました。何も考えずに敷かれたレールに乗っているだけのようだったのと、何より医師という職業がいかに大変な仕事であるか、目の当たりにしてきたからです。

そんな私の心を動かしたのが亡き祖母の「勉強して、努力をすれば、患者さんに喜んでもらえる、必要としてもらえる。こんなに恵まれた仕事はないわ」という言葉でした。祖母は患者さまと地域のために生きた立派な医師でした。

自信はまだあまりないけれど、私も気持ちはいつまでもますます「良医を目指して努力を積み重ねていきたい」と思います。

初期臨床研修医ワークショップについて

当院では毎年2回、ミシガン大学家庭医療学教授・神保真人先生じんぼ まことによる研修医指導を行っています。

研修では研修医の自主性を大切にしており、研修医自らが研修テーマを決定します。平成27年1月15日〜17日に行った研修では画像診断・超音波検査・医学統計・医療英会話等をテーマに行いました。神保真人先生からの講義だけではなく、テーマに沿ったプレゼンテーションや実習で、研修医同士が真剣に議論をする貴重な機会となっています。



画像診断研修の様子



腹部超音波実習の様子



医学統計に関する講義の様子

神保さんのある日のスケジュール



- 7:30 出勤、病棟回診、オーダーの確認
- 8:30 カンファレンス
- 9:30 血液検査結果の確認、上級医とディスカッション、回診
- 12:00 休憩
- 13:00 検査、調べ物、勉強
様々な手技やカルテ記載などの病棟業務
- 18:00 退勤

マイ★スターに一問一答！



じんぼ まや
神保 麻耶 さん

Q. この病院を選んだ理由はありますか？

A. 大好きな宇都宮で働きたいと思ったこと、患者さんから信頼される病院であること、お掃除が行き届いており、いつもびかびかで明るい雰囲気であることです。

Q. 尊敬する人はいますか？

A. 神谷美恵子かみや みづこさん、コ・シヤネルこしやねるさん
↓信念を持った生き方と、女性らしい強さに憧れます。

Q. 研修をする上で心がけていることはありますか？

A. 謙虚に学び続ける姿勢や周囲の方々への感謝と配慮を忘れないよう心がけています。

Q. 好きな言葉は何ですか？

A. The Art of Loving (愛するということ)

Q. 気分転換したいときはどうしていますか？

A. 3歳になる子どもと遊んだり、買い物をしたり、読書をしたり、好きな音楽を聴いたり、歌ったりします。

Q. 今後の目標・意気込みを教えてください！

A. 地域医療に貢献したいです。
※精神科の医師であり、著述家でもある。ハンセン病患者に寄り添い、その人生を捧げたことで広く知られています。

※「ファッションブランド「シヤネル」の創業者。仕事に対する情熱を持ち、常に夢に向かって諦めずに挑戦する女性だったと言われている。

